

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 1 区分
【発行日】 平成 16 年 11 月 4 日 (2004.11.4)

【公表番号】 特表 2000-503209 (P2000-503209A)

【公表日】 平成 12 年 3 月 21 日 (2000.3.21)

【出願番号】 特願 平 9-526103

【国際特許分類第 7 版】

A 0 1 K 67/027

C 1 2 N 5/10

C 1 2 N 15/09

【F I】

A 0 1 K 67/027

C 1 2 N 15/00 A

C 1 2 N 5/00 B

【手続補正書】

【提出日】 平成 15 年 12 月 19 日 (2003.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 補正の内容のとおり

【補正方法】 変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年12月19日

特許庁長官 今井 康夫 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第526103号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名称 オーソーマクニール・フアーマシユーチカル・インコーポ
レーテッド

3. 代理人

住所 東京都港区赤坂1丁目9番15号

日本自転車会館

氏名 (6078) 弁理士 小田島 平吉

電話 03-3585-2256



4. 補正命令の日付

なし(自発)

5. 補正の対象

「請求の範囲」及び「明細書」

6. 補正の内容

〔1〕請求の範囲を別紙のとおり訂正する。

〔2〕明細書第39頁19行以下に次の文を加入する。

『以下に、本発明の主な態様ないし特徴を挙げる。』



1. 体細胞もしくは生殖細胞がH 2 -M a 遺伝子の変化させた形態をコードする遺伝子を含み、その変化させたH 2 -M a 遺伝子が野生型 H 2 -M a 遺伝子を置換するために胚芽段階にある動物もしくはその動物の子孫内に胚芽幹細胞を用いることで予めターゲティングされているトランスジェニック動物。
2. 前記動物がマウスであり、そして前記野生型 H 2 -M a 遺伝子が H 2 -M a 遺伝子である前記 1 に記載のトランスジェニック動物。
3. 前記マウスが繁殖能をもち、かつ変化させた H 2 -M a 遺伝子をその子孫に伝達することができる前期 2 に記載のマウス。
4. 変化させた H 2 -M アルファ鎖遺伝子が、変化させた胚芽幹細胞のマウス未分化胚芽細胞内へのマイクロインジェクションにより、胚芽段階のマウスの子孫内に導入してある前記 2 に記載のマウス。
5. 変化させた H 2 -M a 遺伝子が変化させた胚芽幹細胞の、マウス未分化胚芽細胞内へのマイクロインジェクションか、または変化させた胚芽幹細胞と受精卵もしくは桑実胚との同時インキュベーションによるかのいずれかで胚芽段階のマウス内に導入してある前記 2 に記載のマウス。
6. H 2 -M で改変させてあるトランスジェニックマウスとして設計されている前記 2 に記載のマウス。
7. 前記動物がマウスであり、そして前記 H 2 -M a の変化させた形態が非機能的であるかもしくは前記マウス以外の種に由来するかのいずれかである前記 1 に記載のトランスジェニック動物。
8. 前記 H 2 -M a の変化させた形態がヒト H 2 -M a である前記

7に記載のマウス。

9. 体細胞もしくは生殖細胞がH 2-M aアルファ鎖の変化させた形態をコードする遺伝子を含み、変化させたH 2-M aアルファ鎖が野生型H 2-M a遺伝子を入れ替える目的で、胚芽段階にあるマウスもしくはそのマウスの子孫内に胚芽幹細胞を用いることで予めターゲティングされているマウスを作成する：

(a) H 2-M a遺伝子をターゲティングするために設計されたH 2-M a の変化させた形態をコードする遺伝子をマウス胚芽幹細胞内に導入すること；

(b) 変化させたH 2-M a遺伝子を含む胚芽幹細胞をマウス未分化胚芽細胞内に注入すること；

(c) 注入した未分化胚芽細胞をレシピエントマウス内に移植すること；および

(d) 胚芽を発育させて創始動物としてのトランスジェニックマウスを生産すること、を含む方法。

10. 段階(a)の導入がマイクロインジェクションによる前記9に記載の方法。

11. 更に、

(e) キメラトランスジェニックマウスを野生型マウスに交配させてヘテロ接合型(F 1)マウスを取得する段階；および

(f) 該ヘテロ接合型(F 1)マウスを繁殖させてホモ接合型(F 2)H 2-M a 欠損トランスジェニックマウスを作成する段階、

を含む、前記 9 に記載の方法。

12. 前記 1 に記載のトランスジェニック動物に由来する細胞株。』

以上

別紙

〔請求の範囲〕

『 1. 体細胞もしくは生殖細胞が H 2 -M a 遺伝子の変化させた形態をコードする遺伝子を含み、その変化させた H 2 -M a 遺伝子が野生型 H 2 -M a 遺伝子を置換するために胚芽段階にある動物もしくはその動物の子孫内に胚芽幹細胞を用いることで予めターゲティングされているトランスジェニック動物。

2. 前記動物がマウスであり、そして前記野生型 H 2 -M a 遺伝子が H 2 -M a 遺伝子である請求項 1 に記載のトランスジェニック動物。

3. 前記動物がマウスであり、そして前記 H 2 -M a の変化させた形態が非機能的であるかもしくは前記マウス以外の種に由来するかのいずれかである請求項 1 に記載のトランスジェニック動物。』